

1. くらし 防災 プログラム ⑩

室内

ダンボールトイレを作ってみよう

ねらい

災害時には電気や水がストップし、トイレが使えなくなることに気づき、ダンボールトイレ作りで自助力の向上や災害について考え、行動する力を身につける。

問いかけの例

災害時のトイレの重要性や、トイレが使えない時どうするか、問いかけを行う。

- 災害時に困ることは何ですか？
- トイレが使えない時どうしますか？

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問いかけ」を行う。 ・安全や環境への配慮について説明する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①を参考に、災害時のトイレ問題について話し合う。 ・ワークシート②を参考に。ダンボールトイレを作る。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを通して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～③（コピー） <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ダンボール（頑丈なものが良い） <input type="checkbox"/> カッター <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> ごみ袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 消臭用品（茶殻・コーヒー豆のカス・消臭スプレーなど）
------------------	---

安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。

こども

ワークシート①

（コピーして使って下さい）

災害時のトイレ問題について考えよう

東日本大震災の時に起きたこと

東日本大震災の時、仮設トイレが避難所に行き渡るまでに要した日数。

3日以内：34%

4～7日：17%

8～14日：28%

15～30日：7%

1ヵ月以上：14%

対象：29自治体（岩手県、宮城県、福島県の特定被災地方公共団体）

仮設トイレが届くのに時間がかかるのね。



（出典：避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン平成28年4月（内閣府 防災担当））

トイレが少ないとどうなるか

避難者の数に比べてトイレの数が不足するとどうなるか。

- トイレの使用を減らすために水分や食事を控えることになり、体調が悪くなる。
 - 水道がストップすると水洗トイレの水が流れないため、あっという間に便器内が大小便でいっぱいになる。
 - 手が洗えないので不衛生になる。避難所で病気が蔓延する。
 - トイレの設置場所が暗い、和式トイレの場合、高齢者、障がい者、女性、子どもが利用しにくい。
- ・・・いろいろな問題が起こる。

災害時に使えるいろいろなトイレの紹介

- 携帯トイレ：（例）既存の洋式トイレにつけて使用する便袋タイプ。
- 簡易トイレ：（例）ダンボール等を組み立てて、ビニール袋を付けて使用。
- 仮設トイレ：（例）工事現場や祭りの時に設置されているトイレ。
- マンホールトイレ：マンホールの上に便座や囲いを設置する。市町村が設置を進めている。

沖縄県内では54基設置（平成29年度末、国土交通省）

詳しくは、インターネットで「〇〇トイレ」で検索してみよう。

ワークシート② （コピーして使って下さい）

準備するもの



ダンボール 2つ（縦・横・高さ 30cm～40cm 他サイズでも OK）
新聞紙、大きめのビニール袋、ガムテープ
カッター、ペン

ごみ

ダンボールトイレの作り方



●ひとつのダンボールの底をガムテープで閉じる



●もうひとつのダンボールを切って、側面の4枚を使用



●ペンで印をつけ、半分まで切る



●4枚を井型に組合せる



●ダンボールの中に入れる



●フタをして、便座用の穴をあけるための印をつける



●便座用の穴をあける



●ビニール袋を入れて、切った新聞紙を中に入れる



●使い終わったらビニールを結んで処分

ワークシート③

（コピーして使って下さい）

感じたことを書き出してみよう

災害時のトイレ問題について、感じたことを書いてみよう。

ダンボールトイレを作った感想を書いてみよう。

振り返り

ダンボールトイレを自分で作れましたか？

ダンボールトイレの作り方を、他の人に教えることができますか？

やってみよう

- その他の簡易トイレを調べて、作ってみよう。

もっと知りたい

- 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン平成 28 年 4 月（内閣府 防災担当）
- 災害時のトイレ（国土交通省 HP）

1. 暮らし 防災 プログラム ⑪

屋
外
+
室
内

家族で考える台風対策

ねらい

沖縄の身近な自然現象「台風」と対策について、家族で「いつ」「誰が」「何を」やるのかを話し合うことで、台風による災害について考え、行動する力を身につける。

問いかけの例

台風が来る前の台風対策について問いかけを行う。

- 台風前、台風接近時、台風後にやっていることは何ですか？
- 台風が来る前に、何を準備していますか？

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問いかけ」を行う。 ・安全や環境への配慮について説明する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①②を参考に、家族で話し合っってワークシート③④を完成させる。 ・台風の時にワークシート③④に従って行動してみる。 ・台風の後に関族みんなでワークシート③④を見直す。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート⑤を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを経験して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～⑤（コピー） <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 住んでいる市町村の防災マップ
------------------	--

安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。

ワークシート①

（コピーして使って下さい）

台風時の心得

●台風が来る前の対策

- 飛散物や猛烈な風で窓が壊れるのを防ぐため、雨戸や板などで窓を補強する。
- 飛散物や風で窓ガラスが割れてケガをしないよう、ガラスに布テープなどを貼り、カーテンやブラインドを下ろす。
- 大雨による家屋への浸水を防ぐため、周囲の側溝や排水溝の掃除をする。
- 風で飛ばされそうなものは、固定するか、風の影響を受けない場所に移動する。
- 台風の停滞等で長期間外に出られない時や緊急避難に備えて、必要なものを準備する。
- 避難場所を確認する（場所が分からない場合は、市町村に連絡して確認する）。

●台風が近づいてきたら

- テレビやラジオなどの台風情報に注意する。
- 不要、不急な外出はしない。

●危険がせまったら

- 危険を感じたり、消防署や市町村などから指示があった場合に備えて、すぐに避難できるように準備する。
- 高潮警報が出たら、海岸付近、低地地域の方は高台に避難を始める。

●避難の際に注意すること

- 必ず火の元の確認を行いましょう。
- 荷物は最小限にとどめて、背中に背負うなど、とっさの事態に対処できるようにしましょう。
- 車の使用はできるだけやめましょう。
- 隣近所にも声をかけて、一緒に避難するようにしましょう。
- 地域内に体の不自由な方や高齢の方がいる場合は、地域で協力して避難の援助をしましょう。

ワークシート② （コピーして使って下さい）

タイムラインの書き方の例

●台風前～台風後に、家族のだれが、いつ、何をやるか、みんなで考えて書き出そう（学習資料①参照）。



いつ	やること	太郎	花子	次郎	三郎		
3 日前	気象情報の確認	●	●	●	●		
	家のまわりで危険なものを確認	●			●		
	住んでいる市町村の防災マップで、避難所の確認と避難ルートを下見する		●	●			
2 日前	買い出し		●		●		
	会社や学校の台風時対応を確認	●	●				
1 日前	気象情報の確認	●					
	ベランダの片づけ	●			●		
12 時間前	避難情報の収集	●	●	●	●		
	避難所へ避難	●	●	●	●		
	携帯電話・スマートフォンの充電	●	●				
台風接近	外出しない	●	●	●	●		
	気象情報の確認	●	●	●	●		
台風後	庭の片づけ			●	●		
	洗車する	●					
	タイムラインを見直す	●	●	●	●		

ワークシート④ （コピーして使ってください）

台風時に準備するものチェックリスト

●台風の時に準備しておくものを確認しよう。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> 食料品（調理不要）	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品	<input type="checkbox"/> 毛布
<input type="checkbox"/> ヘルメット・タオル	<input type="checkbox"/> スリッパ
<input type="checkbox"/> 手袋・軍手	小児やお年寄りのいる家庭
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・予備電池	<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池	<input type="checkbox"/> ミルク・ほ乳ビン
<input type="checkbox"/> 携帯電話・スマートフォン・充電器	その他に必要なもの
<input type="checkbox"/> 救急箱・くすり	<input type="checkbox"/>

非常時連絡先

●いざという時の連絡先を確認しよう。

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

◎警察署 ☎ 110 _____

◎消防署 ☎ 119 _____

◎市町村役場 ☎ _____

◎沖縄電力 ☎ _____

親戚の連絡先も確認しよう。

非常時の連絡先を調べて書こう。



ワークシート⑤

（コピーして使って下さい）

感じたことを書き出してみよう

台風の後、うまくできたこと、うまくできなかったことを書いてみよう。

想定外のことを書いてみよう。

振り返り

ワークシート①②を家族みんなで見直そう。

やってみよう

- 地震や火事等、予想できない災害についても家族みんなで考えてみる（行動、連絡方法等）。

もっと知りたい

- 沖縄防災情報ポータル ハイサイ！防災で～びる（沖縄県 HP）
- 台風対策・台風情報等（沖縄気象台 HP）
- 台風被害状況（沖縄総合事務局 HP）